

■野上弥生子 小説家。「海神丸」で登場し、精緻な観察眼とみずみずしい精神保ち、100歳で没するまで傑作を書き続けた。

のがみやえこ

内閣発足・・・1885＝ 大分県臼杵で、一代で富豪となった造り酒屋の長女に生まれる。

日清戦争始・1894＝9歳：

日清戦争終・1895＝10歳：高等小学校に入学し、

国学者久保千尋から、日本の古典や漢籍の講読を受けた。

Bushidou・・・1899＝14歳：高等小学校を卒業。英語の学習を始める。

ピアノ/国産化・1900＝15歳：上京して叔父の家に身を寄せ、明治女学校普通科に入学。

日比谷公園・1903＝18歳：明治女学校高等科に進学。同郷の野上豊一郎と会う。

日露戦争終・1905＝20歳：豊一郎(この年、東京帝大文科大学英文科に入学)と結婚。

満鉄発足・・・1906＝21歳：明治女学校高等科を卒業。漱石山房に出入りする豊一郎に触発されて習作「明暗」を書く。

韓国反日暴動1907＝22歳：夏目漱石の指導のもとに{ホトトギス}に発表した「縁」以下の写生文作家として出発。

アヲヲ 創刊・1908＝23歳：以後、次々と作品を発表。この年から弥生子の筆名を使う。

韓国併合・・・1910＝25歳：長男誕生。

大逆事件判決1911＝26歳：{青鞥}の創刊に参加するが、直に退社し、圏外にあって次々と創作や翻訳を寄稿した。他の主要誌紙にも次々と作品を発表する。

明治天皇没・1912＝27歳：

大正政変・・・1913＝28歳：次男誕生。翻訳書を初めて刊行。

第一次大戦始1914＝29歳：父が死去。童話集「人形の望」を刊行。

21ヶ条要求・1915＝30歳：叔父が死去。

民本主義・・・1916＝31歳：母性賛歌の独自の作風の*処女創作集「新しき命」出版。

本格政党内閣1918＝33歳：三男誕生。この前後、多くの戯曲を手掛ける。

大暴落・・・1920＝35歳：J.シュビーリ原作の「ハイヂ」を翻訳。

原敬首相暗殺1921＝36歳：

水平社結成・1922＝37歳：*傑作「海神丸」を発表、刊行。

護憲三派圧勝1924＝39歳：「ソーニャ・コヴァレフスカヤ」を出版。

円本時代始・1926＝41歳：戯曲集「人間創造」を出版。「大石良雄」を発表、西欧古典の教養に培われた知的構成力と、精緻なりアリズムに基づく理想主義的作風を示した。

共産党事件・1928＝43歳：「大石良雄」が岩波文庫として刊行される。長編傑作「真知子」の連載を始める。

海軍軍縮条約1930＝45歳：「真知子」が完結し、

満州事変・・・1931＝46歳：出版。

五一五事件・1932＝47歳：その後、「若い息子」、

芥川直木賞始1935＝50歳：「哀しき少年」など社会的傾向が色濃くなり、

二二六事件・1936＝51歳：「迷路」の冒頭にあたる部分をを発表。

日中戦争始・1937＝52歳：

健保+総動員1938＝53歳：豊一郎に従い渡英。

第二次大戦始1939＝54歳：ヨーロッパ、アメリカを経て帰国。

日米開戦・・・1941＝56歳：

創価学会検挙1943＝58歳：旅行記「欧米の旅」を出版。

年金+総武装1944＝59歳：軽井沢の山荘で疎開生活を始める。

敗戦・・・1945＝60歳：

新憲法施行・1947＝62歳：日本芸術院会員となる。

極東裁判決・1948＝63歳：山荘生活から東京に戻るが、以後も山荘を仕事場とする。「迷路」の第一、二部を出版。

三大事件・・・1949＝64歳：以後「迷路」の残りの部分を断続連載。「野上弥生子全集」刊行開始。

朝鮮戦争始・1950＝65歳：豊一郎が急逝。

独立回復・・・1951＝66歳：

メーデー事件・1952＝67歳：「迷路」の第三、四部を出版。

自衛隊発足・1954＝69歳：「迷路」の第五部を出版。

国連加盟・・・1956＝71歳：*「迷路」が第六部の出版をもって完結、市民文学の代表作として高く評価され、

なべ底不況・1957＝72歳：読売文学賞。

その後、中国作家協会の招きで中国旅行をして作品としても発表。

安保闘争・・・1960＝75歳：

東京初ベスト 1964＝79歳：「秀吉と利休」を出版し、女流文学賞。

いざなぎ景気1966＝81歳：

ドミノ/・・・1971＝86歳：文化勲章を受けた。

沖縄返還・・・1972＝87歳：なお自伝小説「森」の連載を始め、

貿易摩擦問題1980＝95歳：「野上弥生子全集」刊行開始。

ジャパ 機墜落1985＝100歳：日記をつけ続けて、老衰のため、没した。

新潮日本文学アルバム、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「日本の女性」、